

「沖縄の未利用資源の有効活用」 北大東島産ドロマイトと 大東月桃を主原料とした商品開発

ECOMAP

ECOMAP(那覇市
寄宮、三輪恵美社長、
098・894・3696、
<http://www.ecomap.co.jp>、

co.jp)は、沖縄本島の東に位置する北大東島北大東村より委託を受け、月桃の刈取りから1次原料である精油、芳香蒸留水、各種エキス、食品

用原料の製造まで管理するとともに、那覇の工場において2次加工品である化粧品、雑貨、食品の製造管理および販売も行っている。「沖縄の未利用資源の有効活用」をスローガンとし、エビデンス重視で素材の研究を進め、安心かつ安全な商品やサービスを提供できる企業をめざしている。

北大東島は、ほぼ全島化石サン



ポリフェノールや抗酸化作用が注目を集める、ショウガ科の植物「月桃」

ゴに由来するドロマイトで構成された、世界で唯一の島と言われる。同社の独自技術で、カルシウムとマグネシウムの比率に優れたドロマイトの成分を損なうことなくパウダー化することに成功し、化粧品や食品などさまざまな分野で使用する事が可能になった。また、北大東島に自生する月桃についても研究を重ね、他地域と比べて殺

菌力の高い有機成分が多く含まれていることが分かっている。同社は、「自然派化粧品」を製品開発コンセプトに、自然由来の原料にこだわり、月桃の含む「エモリエント作用(肌を柔らかくする作用)」「特性を持つ成分に、北大東島のドロマイトの洗浄力をプラスしたコスメや加工食品の商品開発、販売に取組んでいる。

このドロマイトと大東月桃を活用し、北大東島の新たなブランドとして、ひとつの産業に成長させることができるのではと期待されている。

同社の商品は、関東の生協、ヨシケイ、牛乳宅配会社でも販売しております

